

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	HKT株式会社本社新築計画	階数	地上3F、地下1F
建設地	相模原市緑区西橋本5丁目1127番14	構造	S造
用途地域	工業地域、特別工業地域	平均居住人員	200人
気候区分		年間使用時間	1,920時間/年
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年2月 予定	評価の実施日	2015年4月3日
敷地面積	4,974 m ²	作成者	株式会社日創設計
建築面積	2,126 m ²	確認日	2015年4月6日
延床面積	4,999 m ²	確認者	株式会社日創設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ 温暖化影響チャート	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.6 ★★☆☆☆☆</p> <p>S: A: B+: B-: C:</p>	<p>☆☆☆☆☆☆</p> <p>30%: 60%: 80%: 100%: 100%超:</p> <p>標準計算</p> <p>参照値: 建設 0% 修繕・更新 0% 解体 0% 運用 0% オンサイト 0% オフサイト 0%</p> <p>建築物の取組み: 96%</p> <p>上記+ 以外の: 96%</p> <p>上記+: 96%</p> <p>0 46 92 (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.3</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>外壁材は断熱材を充填した仕上材を使用し、断熱に考慮している。 電気自動車用充電設備を採用するなど、省エネルギー・省資源に配慮している。</p>		<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>窓にブラインドを設け、外気温調整を配慮している。 積極的に窓を設け、自然採光を確保している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>喫煙室を設置し、非喫煙者に配慮している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>周辺のまちなみを考慮して外壁材及び色を選定し、できる限りの緑地を設けている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明設備の採用。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水器具の採用。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>周辺の環境を配慮し、適切な量の駐輪場・駐車スペースを確保している。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される